

園だより 6月

わが子よ、父の諭しに聞き従え。母の教えをおろそかにするな。

箴言 1章 8節

梅雨に入る前に子どもたちが幼稚園に戻って来られたこと、本当に嬉しく思います。緊急事態宣言期間の間、それぞれのお家で如何お過ごしでしたでしょうか。置かれた環境に順応しながら、「今大切なこと」を考えつつ過ごした緊急事態宣言期間、様々なことがあったことと思います。この時だからこそ感じたり考えたり、気付かされたりすることも沢山あったのではないのでしょうか。

虹を届けてくださった時、配布物を取りに来られた折など、保護者の皆様とお話させて頂いた少しのとき、ご家族で過ごす時間の長さ、我が子との密度の濃い関わり合いのことなど、色々なお話をお聞きしました。「大変です」とおっしゃりながらも、「こんなにも家族で過ごす時間がいっぱいなのはきっと今だけでしょうね。貴重なときだと思います」「このような時があったからこそ、我が子とこんなにも楽しむことが出来ています」など、「今のとき」を大切に捉え過ごされている様子がうかがえました。

緊急事態宣言期間で「リモートワーク」「オンライン授業」など、私には聞き慣れない言葉が当たり前のように耳に入るようになりました。有名な教育評論家の方々も「これからの時代は～」と絶賛しておられました。幼稚園も確かに、ホームページを通しリモートで子どもたちと繋がっていることが出来た一面はありました。けれども！です。幼児期にお友だち、先生たちとの小さな社会で育まれる生きる力、画面を通してでは感じられない相手のぬくもり、感触、におい、息づかい、その場の空気感、お互いに気持ちのバランスを取り合いながら繋がる関係。スイッチを切れれば遮断できる関係とは違うのです。可憐な花、虫たち、触ってみて初めてその存在感を実感するのです。五感を使っている様々な経験を通して育まれる感性。育みの環境である幼稚園生活の大切さを改めて痛感致しました。まだまだ自粛は続きます。分散登園、密にはならないなどなど、どの様に過ごすことがより良いのか、分からないこと迷うことが山積みです。けれども子どもたちを豊かな人として育むために、幼稚園という小さな社会での大切な日々をスタートできることに感謝したいと思います。経験を通しての学びのためにも。

保護者の皆様には状況に応じてのご理解とご協力、宜しくお願い申し上げます。子どもたちとの平安な日々のために祈ります。

園長 駿河 幸子